一般質問 議:議員／理:理事者

- 国道157号の長山、暮見、下荒井トンネルの安全対策について
- 新中学校給食調理等業務委託のプロポーザル入札の不調と対策について

その他の質問
・8月29日から30日に福井県を襲った豪雨災害について
・県内の自治体でも実施する補聴器補助を、勝山市も実施すること

日本共産党 **山田安信**議員

議 「長山トンネルは危険なので通学路にせず、中学生の利用は禁止で検討している」のは問題だ。危険ならガードレール設置など道路管理者に要請すべきだ。また、下荒井トンネルは、国道157号工事で歩道整備を要請すべきだ。暮見トンネルは歩道整備を要請し、小中高生は無料でデマンドバスが利用できるなど市独自の対策をすべきだ。

理 長山トンネルは構造が危険なわけではなく、朝の交通量が多く事故の恐れがあるためで、今後勝山市通学路安全推進協議会で判断する。下荒井トンネルは、奥越土木事務所によると新しく整備するトンネルに有効幅員3mの自転車歩行者道を設置する計画である。暮見トンネルは、小学生は通学時のバス利用について定期券購入補助を行っている。中学生については、来年度からスクールバスが無料利用できる。デマンドバス利用は検討する。

長山トンネル内

議 市は小学校給食の正職員を削減して短時間の会計年度職員を募集したが応募がなかった。給食は土日や夏休みが有り、業務時間も短く、困難な事業である。入札不調は業者の責任でなく、事前の検討を十分せずに決めた市長の責任が重い。見解を問う。また、再入札では問題は解決しない。勝山市が直営するなど中長期的な対策を検討すべきだ。

理 プロポーザル応募不調の原因を事業者から聞き取りを行い、市場環境に適合しているか確認し、事業者決定に努める。また、中長期的な対応検討には同意し、調理員の待遇改善や市と事業者との連携など手法を研究し、安定的な給食供給体制の構築を検討していく。

一般質問 議:議員／理:理事者

- 勝山市立図書館の活性化について
- 若者を守る防犯リテラシーについて

その他の質問
・大規模災害時における人的受援体制について

公明党 **安岡孝一**議員

議 市立図書館が「読む・集う・学ぶ」、学校図書館が子どもの「得意」を伸ばすような国が求める図書館の活性化について、今後どのように進めていくかを問う。

理 図書館は、生涯学習の場としてだけでなく、多様なニーズに対応した機能の充実が求められており、多くの世代が使いやすい学べる場を目指して「としょかんまつり」やブックスタートなど多くのイベントや講座を開催している。

勝山中学校のメディアセンターは勝山高校の図書室と統合した共有空間として整備し、幅広い興味関心と高度な学習に対応するとともに、探究的な学習など主体的に学び集える学校図書館とする。

新しい時代に合った図書館のあり方、機能の充実と活性化に取り組んでいく。

議 学校教育の現場や、青少年育成の取り組みの中で「SNS上の勧誘」「闇バイト」「特殊詐欺への加担防止」「個人情報の管理」「ネット上のトラブル」などを含めた防犯リテラシー教育を、保護者の周知も含めて実施すべきと思うが、市の所見を問う。

理 市では、児童生徒がネットやメディアに関する正しい知識とスキルを身に付け、自身が正しく判断して責任ある活用ができるよう支援する「デジタルシティズンシップ教育」を推進している。また、今年度、勝山市PTA連合会では「いじめとインターネットトラブルの基礎知識と対応」というテーマで講演会を行い、勝山高校の保護者にも案内すると聞いている。今後も、親子合同での啓発機会の拡充や関係機関との連携強化を図り、防犯対策の推進に取り組んでいく。

正しいネット利用について学ぶ「ひまわり教室」（市内中学校で開催）